

地域向け

キッチンカー誘致マニュアル



本マニュアル作成のねらい

新型コロナウイルス感染症の影響により区民の交流機会が減少する中、キッチンカーはにぎわいを創出するきっかけとなり、地域におけるイベント運営の担い手不足・労力不足を解消するツールとなる可能性があります。

東区自治協議会では、キッチンカーの概要や近年の社会における動向を調査し、区内の公共施設にキッチンカーを誘致して実証実験を行い、誘致や、出店に付随して発生する各種手続き、当日の対応内容などについてマニュアルを作成しました。

自治会・町内会などで**持続可能なにぎわいづくりに役立てて**いただければ幸いです。

地域のイベントでキッチンカーを活用してみませんか？

東区自治協議会について

- 「分権型協働都市」の実現に向けて、市民と市が協働してまちづくりや諸課題に取り組み、更なる住民自治の推進を図ることを目的として各区に設置されています。
- 委員全員で構成される全体会議の他に、各分野ごとに3つの部会があり、本マニュアルの作成にあたっては、産業・環境分野を担当する第3部会が中心となり作業や検討を行いました。



第3部会の様子

≡ そもそも「キッチンカー」って何？ ≡

- 調理器具や厨房設備を車内に備え付けてある車両のことで、「フードトラック」や「ケータリングトラック」と呼ばれることもあります。イベント会場などいろいろな会場に自ら赴き、飲食品を調理・販売できます。
- 販売されている商品は多岐にわたり、新潟県内だけでも様々なキッチンカーが存在します。

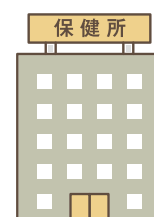
新潟県内のキッチンカーで販売されているもの(一部)

- | | |
|---------------|--------------|
| ・たこ焼き | ・カレー |
| ・から揚げ | ・ピザ |
| ・オムライス | ・ケバブ(トルコ料理) |
| ・カオマンガイ(タイ料理) | ・タコス(メキシコ料理) |
| ・ドーナツ | ・たい焼き |
| ・ぼっぼ焼き | ・おにぎり |
| ・パンケーキ | ・クレープ |
| ・タピオカ | ・アイス |
| ・コーヒー | ・ビール など |



■キッチンカーの営業も「保健所の営業許可」が必要

- ・キッチンカーの営業に関しても通常の飲食店と同じように「保健所による営業許可」が必須となっており、衛生管理に関して一定の条件をクリアしなければ販売をすることができません。
- ・キッチンカーの衛生管理の基本は、通常の飲食店と同じです。キッチンカーの商品も安心して購入し、飲食をすることができます。
- ・営業許可書はキッチンカーの車内に掲出されています。イベントの実施前に、事前に内容を確認させてもらったり、写しを提出してもらってもよいでしょう。



■コロナ禍における新たな販売手法として注目される

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、飲食店への時間短縮営業の要請や宴会などの自粛、テレワークの導入などによるテイクアウト需要の高まりを受け、従来は店舗形式で飲食店を経営していた事業者が、新たな販売手法として「キッチンカー」を選択するケースが増えてきました。
- ・キッチンカーの開業支援(車両の調達や改修、商品メニューの選定や出店場所の開拓支援など)を専門に行う事業者なども存在し、今後キッチンカーの多様性や活躍の場も広まっていくことが想定されます。



ポイント

- ・キッチンカーで購入できる商品はとても幅広く、選択肢が多い。
- ・キッチンカーの衛生管理は通常の飲食店と同等のレベル。
- ・今後も様々なキッチンカーの活躍が想定される。

≡ 地域のイベントにおいて自分たちで屋台を出すのは大変！ ≡

従来は、地域におけるイベントやお祭りなどにおいて、自治会・町内会の役員などが自分たちで屋台を出し、調理を行って来場者に提供するというケースが一般的でした。地域内のつながりを創出できるというメリットがある一方で、自分たちで調理を行って提供するには大変な労力が発生します。

自治会・町内会において発生する手間や労力の一例



- ・食材の調達や調理に係る人手の確保が困難。余った食材の廃棄にも手間がかかる。
- ・保健所への申請や衛生管理が大変。万が一、食中毒が発生したら大きな問題になる。
- ・機材や食材を運搬するのも一苦労。

実際に地域のイベントで屋台を運営された方の声 (新石山四丁目自治会 菊谷さぬ子さん)



当自治会では(コロナ禍でここ3年ほどイベントが中止になっていますが)、毎年子どもを中心とした夏祭りを開催しています。わたあめ・かき氷・ポップコーンなどを、レンタル器具を利用して屋台で提供してきましたが、労力も必要で負担が大きく、衛生管理にも気を抜けない状況で、自分自身がゆっくりと祭りを楽しむ余裕はなかなかありませんでした。運営スタッフも楽しむことができるような祭りになればいいな、と毎年考えています。

「一緒に協力して運営することで“つながり”が生まれる」というメリットは大切にしながらも、労力はできる限り抑えていくことで、持続可能なイベント運営を目指したい。

キッチンカーなら、そのお役に立てるかも!

キッチンカーを誘致することによる地域の負担の軽減



食材や調理器具は全てキッチンカーが用意してくれる

- ・当日の調理に使用する食材はキッチンカー事業者が用意するため、自治会・町内会側が用意しなくてはならない食材や調理器具は基本的にありません。
- ・売れ残った商品や食材の余りはキッチンカー事業者が持ち帰ってくれるため片付けの手間が省けます。
- ・キッチンカーが来ることや商品の内容について事前に広報を行い、当日は来場者に積極的にPRして、少しでも売れ残りが発生しないように協力できると理想的です。

保健所への別途の申請などは不要

- ・飲食物の提供に係る営業許可は既にキッチンカー事業者側で完了しているため、保健所への別途の申請などの手間が省けます。

テーブルや椅子などはレンタル業者を活用

- ・自治会・町内会の負担軽減の観点から、レンタル専門業者の活用を検討してみましょう。(キッチンカー事業者はテーブルなどを保有していないことが多いため)
※レンタル物品と費用の例については5ページに記載



≡ キッチンカー誘致のための準備や作業について ≡

イベントの約2か月前

キッチンカー事業者との連絡の取り方

パターン① 直接訪問して声をかける

- ・キッチンカーはイベント会場や大規模小売店舗の駐車場で出店しているケースが多いです。そういった会場に足を運び、そのキッチンカーの商品を実際に購入して食べてみることをお勧めします。また、キッチンカーから直接商品を購入することで、商品の味や価格だけでなく、キッチンカー事業者の人柄や対応の様子、キッチンカーのサイズ感なども確認できます。
- ・その結果、「このキッチンカーにお願いしたい」という場合はキッチンカー事業者に声をかけて相談してみましょう。ただし、正午付近の時間帯など、忙しい時間帯の場合は声をかけると迷惑になってしまうこともあるため、時間をずらしてみたり、キッチンカーのカウンターに置いてある配布用の名刺を持ち帰り、後で電話をかけて相談するという手段もあります。



パターン② SNSを利用する

- ・多くのキッチンカー事業者は、SNS(Instagramやツイッターなど)を利用しています。キッチンカーに二次元コードなどが貼り付けられている場合には、それを読み取ってキッチンカー事業者のアカウントにアクセスし、個別にダイレクトメッセージでやり取りができます。



Instagramの二次元コード
(サンプル)

イベントの約2か月前

誘致する会場の利用に係る各種手続き

① 公共施設の場合

- ・使用や占有などに関する「申請」が必要になり、原則として土地の使用料が発生します。
- ・公園の場合など、火器の使用自体が制限されているケースもあります。事前にその施設を所管する部署に相談し、提出書類や火器の使用の可否などについて確認しましょう。

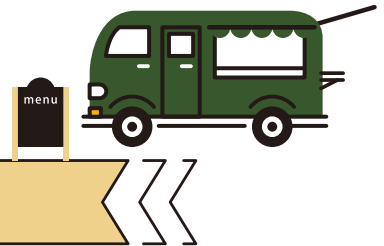
■ 手続きの例

- 公共施設の駐車場を利用する場合(担当:施設を所管する部署)
 - ↳ 行政財産の使用許可に係る手続きが必要です。
- 公園を利用する場合(担当:区建設課)
 - ↳ 都市公園の占有許可に係る手続きが必要です。
- 小学校や中学校のグラウンドを利用する場合(担当:各学校)
 - ↳ 学校側と事前協議を行い、学校側から許可をもらう必要があります。



② 私有地の場合

- ・その土地の所有者や管理者との個別協議が必要です。余裕を持って早めに相談をしましょう。



準備する内容

① 飲食スペースの準備

- ・キッチンカー事業者は飲食スペースを用意するための物品(テーブルや椅子、パラソルなど)を保有していないことが多いため、**来場者の飲食スペースを用意する場合は、物品を別途用意する必要があります。**
- ・自治会・町内会で物品を保有していない場合には、**レンタル専門業者から当日だけレンタルするという方法もあります。**予め日時と会場を指定することで配送してくれる業者もいるため、希望する場合は事前に連絡して確認しましょう。

【参考】物品をレンタルした時の価格

(令和4年度に実施したキッチンカー誘致に係る実証実験の場合)
※市内のレンタル専門業者を利用

- ・テーブル : 2台
- ・椅子 : 8脚
- ・パラソル : 2本
- ・固定用注水台 : 2台

セットで
1万円
ほど



実証実験の様子については6ページをご覧ください

② 広報用物品(チラシやポスターなど)の作成と配布

- ・事前に広報用のチラシやポスターなどを用意して地域内で周知することで、当日の来場者の増加につながります。
- ・当日の売れ残りを防ぐためにも、キッチンカーが来ることを積極的にPRしましょう。**料理やキッチンカーの写真をチラシなどに掲載できると更に効果的です。**

当日の対応

- ・調理や販売などはキッチンカー事業者が対応してくれるため、基本的に自治会・町内会などで対応することはありません。
- ・キッチンカー事業者は多くの場合1人で調理から販売まで全てを行うため、**混み合ってくる**と多忙になります。**行列ができたときの誘導や来場者への声掛け**などを通して**キッチンカー事業者をサポート**できると理想的です。
- ・また、飲食スペース用の物品を業者からレンタルしている場合は、物品の搬入・搬出と物品の組立て及び設置が必要です。

出店料・謝礼の考え方

- ・販売した商品の売り上げは基本的にキッチンカー事業者の利益となります。
- ・キッチンカー事業者がイベントの主催者に対して支払う出店料については、無料というケースや、場所代として一定額を支払うケース、当日の売上の何割かを支払うケースなど様々なパターンがあります。

→出店料や謝礼の扱いについては、事前にキッチンカー事業者とよく相談しておくようにしましょう。

≡ キッチンカー誘致に係る実証実験を行いました ≡

令和4年11月21日(月)、休館日の東総合スポーツセンター第2駐車場において、キッチンカー「カメダバルkomaru」さんを実際に誘致して商品の販売と飲食スペースの設営を行い、キッチンカーの誘致に係る諸手続きや当日の作業内容などについて確認しました。

天候に恵まれたこともあり、当日は用意した50食分を超える販売実績となり、にぎわいが生まれました。

当日販売した商品

- ・ローストビーフ丼
- ・トマトチキンカレー
- ・キッシュ
- ・はちみつレモネード
- ・コーヒー



購入された方からの感想(当日会場内にて自治協議会委員が聞き取り)

- ・午前中は「い～てらす」で遊び疲れたので、ちょうどキッチンカーがいてくれてよかった。
- ・天気も良くテーブルもあり、その場で食べることができてよかった。
- ・のぞいたらおしゃれな感じの食べ物だったので、たまにはいいかなと思い購入した。
- ・のぼり旗と車が見えたので立ち寄ったら、美味しそうだったので購入した。
- ・以前購入したら美味しかったので、今回はカメダバルさんのSNSで出店情報を見て来店した。

●実証実験を行ってみた感想(東区自治協議会 土田ムツ子 委員)

用意されたテーブルセットでは購入者が景色を眺め、心地よい風に吹かれながら食事を楽しみました。好天にも後押しされ、爽快感を感じるひと時となりました。

1台のキッチンカーが、にぎわいの空間を創り出す可能性を感じることができました。

●実証実験に協力してくださったキッチンカー事業者の方からのメッセージ (カメダバルkomaru 丸山美弥さん)

キッチンカーが来ていることを喜んでくださるお客様がいて、出店してとても良かったです。近隣施設にポスターやチラシを置いてもらい、のぼりで目立たせることで多くの方からご利用いただくことができました。現地で地域のお客様と交流することも楽しみのひとつです。

キッチンカーは車ひとつでどこでも行くことができます。イベントやお祭りなど、機会があればまた連携できれば良いなと思いました。



【丸山さんからは本マニュアルの作成についてもご協力を頂きました】